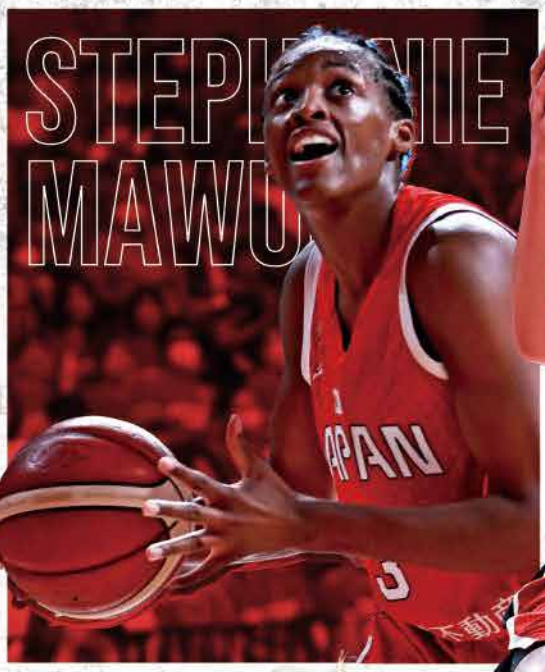
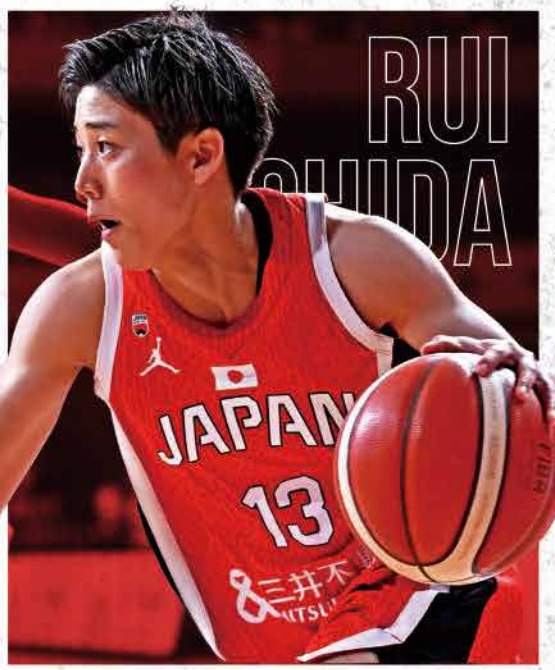
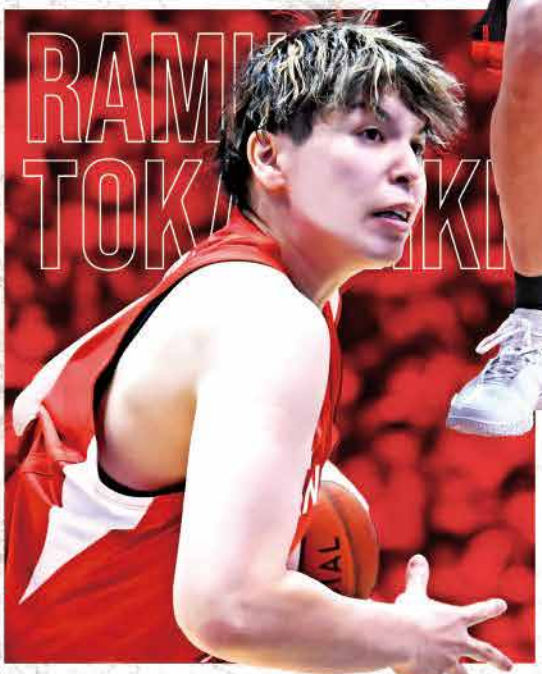
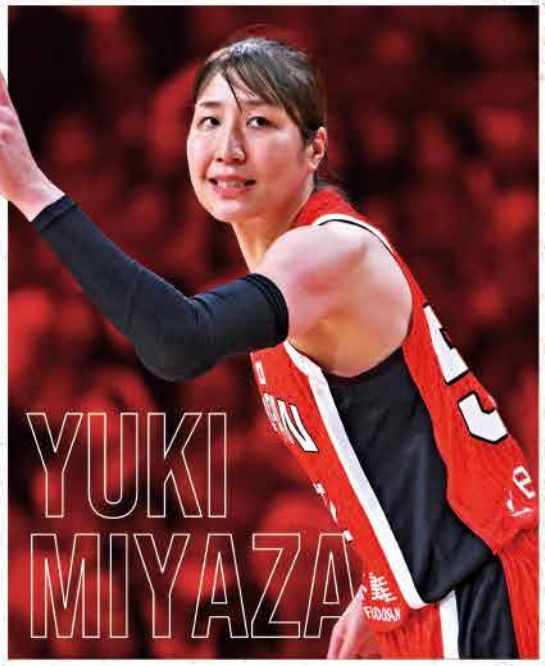








三井不動産
CUP 2025

バスケットボール女子日本代表国際試合(東京大会)

三井不動産カップ 2025

2025 **7.3** THU 19:00 TIPOFF 予定

7.4 FRI 19:00 TIPOFF 予定

JAPAN BASKETBALL
AKATSUKI JAPAN

女子日本代表 FIBAランキング 9位 VS 女子デンマーク代表 FIBAランキング 55位

日本一丸

有明アリーナ(東京都江東区)

OFFICIAL PROGRAM

主催・主管：公益財団法人日本バスケットボール協会　協力：一般社団法人東京都バスケットボール協会　※FIBAランキング（2025年2月9日現在）　※選手はイメージです

街の真ん中にスポーツがある。
スポーツが街を動かす
エネルギーになっている。

ここは LaLa arena TOKYO-BAY。スポーツの大会やライブイベントが行われる大型アリーナです。なぜ街の真ん中にアリーナが？それは三井不動産が街づくりにスポーツの力を活かしているから。スポーツの楽しさや感動をもっと日常的に味わってもらいたい。そして、スポーツをする人、観る人、応援する人のつながりを生み出して街をもっと盛り上げていきたい。スポーツのワクワクを街のエネルギーに変えているんです。スポーツで街が一つになるなんて、ちょっと素敵じゃないですか？

さあ、街から未来をかえよう

BE THE CHANGE

三井不動産 MITSUI FUDOSAN

AKATSUKI JAPAN

JBAオフィシャル街づくりパートナー

GREETING

ごあいさつ

公益財団法人
日本バスケットボール協会 会長

三屋 裕子
YUKO MITSUYA

このたび、女子デンマーク代表チームを有明アリーナにお迎えし、「三井不動産カップ2025（東京大会）バスケットボール女子日本代表国際試合」を開催できますことを、大変うれしく思います。また、来日いただきました女子デンマーク代表チームの皆様にも、心から感謝いたします。

今大会は、FIBA 女子アジアカップ2025前の貴重な国際試合の機会です。安心安全な大会とするべく最善を尽くしますので、ファンの皆様におかれましては、会場で、あるいはテレビ中継やインターネット配信を通じ、ぜひ試合をお楽しみください。女子日本代表チームへのご声援をよろしくお願いいたします。

結びに、特別協賛をいただきます三井不動産株式会社様をはじめとする協賛各社様、また本大会の開催にあたりご尽力いただきます皆様方に心よりお礼を申し上げますとともに、今大会の成功を祈念いたしまして、ごあいさつといたします。

三井不動産株式会社
代表取締役社長

植田 俊
TAKASHI UEDA

「三井不動産カップ 2025 バスケットボール女子日本代表国際試合」の開催に際し、心よりお祝いを申しあげます。

スポーツには、「プレイする」、「観戦する」、「応援する」などの活動を通じて、暮らす人々や働く人々、憩う人々の心身を健康にするだけでなく、新しいつながりを生みだし、コミュニティを活性化する力があります。筋書きのないドラマだからこそ観る人に圧倒的な感動を与えてくれるスポーツは、行きたくなる、集まりたくなる「ミクストユース」の街をつくるうえでも強力なコンテンツだと考えています。

また、三井不動産は2024年4月に策定したグループ長期経営方針「＆ INNOVATION 2030」において、「新たなアセットクラスへの展開」を事業戦略の一つとして掲げており、これまでに取り組んできた「スポーツ・エンターテインメントを活かした街づくり」をさらに加速させ、リアルの体験価値を最大化することを目指しています。

本大会において両国の選手が日ごろの練習の成果や鍛えぬかれた精神力、卓越したスキルを存分に発揮され、力のこもった熱戦が繰り広げられることを期待しています。

©月刊バスケットボール

タイムテーブル

三井不動産カップ2025（東京大会）

バスケットボール女子日本代表国際試合

〈 GAME 1 〉
2025年7月3日(木) TIP OFF 19:00

13：00頃	場外 AKATSUKI JAPAN OFFICIAL STORE オープン
16：30頃	有明アリーナカフェ オープン
17：00頃	開場・場内ブース オープン
18：15頃	オープニングパフォーマンス (ハラミちゃん / AKATSUKI VENUS®)
18：26頃	選手入場
18：54頃	選手紹介
19：00頃	TIP OFF
HALF TIME	AKATSUKI VENUS® ハーフタイムパフォーマンス 有明アリーナカフェ クローズ ※ハーフタイム終了までオープン
20：00頃	場外 AKATSUKI JAPAN OFFICIAL STORE クローズ
21：00頃	試合終了
21：30頃	場内 AKATSUKI JAPAN OFFICIAL STORE クローズ ※試合終了後30分は営業

※スケジュールは、都合により予告なく変更になる可能性がございます。
※開場時間は、状況により前後する可能性がございます。

〈 GAME 2 〉
2025年7月4日(金) TIP OFF 19:00

13：00頃	場外 AKATSUKI JAPAN OFFICIAL STORE オープン
16：30頃	有明アリーナカフェ オープン
17：00頃	開場・場内ブース オープン
18：15頃	オープニングパフォーマンス (ハラミちゃん / AKATSUKI VENUS®)
18：26頃	選手入場
18：54頃	選手紹介
19：00頃	TIP OFF
HALF TIME	AKATSUKI VENUS® ハーフタイムパフォーマンス 有明アリーナカフェ クローズ ※ハーフタイム終了までオープン
20：00頃	場外 AKATSUKI JAPAN OFFICIAL STORE クローズ
21：00頃	試合終了
21：30頃	場内 AKATSUKI JAPAN OFFICIAL STORE クローズ ※試合終了後30分は営業

※スケジュールは、都合により予告なく変更になる可能性がございます。
※開場時間は、状況により前後する可能性がございます。

三井不動産
CUP 2025

オールバスケで、
日本を元気に。

バスケは、ひとの心を動かしつづける。

ボールと身体が、コートと織りなすリズムに、
共鳴する選手の鼓動。

一人ひとりの個性が生む、多彩なプレーに、
ひき込まれていく観客。

ときには100点をこえる、絶え間ない攻防戦に、
固唾をのむ全国のファン。

バスケによる心の弾みは、
日本中をつなげて、元気にしていく。
私たちは、このつながりを未来まで支えていきます。

さあ、バスケをはじめよう。

ALL BASKETBALL
ACTION

Play, Support. さあ、支えることを始めよう。

NISSAY 日本生命

木を植え、
森を育てることも、
街づくりの
大切な一部なんですね。

三井不動産グループは北海道で
約5,000ヘクタールの森林を
保有、管理しています。
その大きさは東京ドーム約1,063個分。
この森が吸収するCO2は年間、
約21,315トンにもなるそうです。
人の手で1本1本苗木を
植え、下刈り、間伐などの
手入れをして健康な森に育てる。
そして、伐採適期を迎えた
木材や間伐材を、ららぽーとや
日本橋の街づくりに活用し、
「植える→育てる→使う」のサイクルを
回し続けて、森を守っているんだって。
街づくりには森や緑を生かすことが
大切なんだな、と思いました。

三井のすずちゃん

三井不動産 MITSUI FUDOSAN
AKATSUKI JAPAN
JBAオフィシャル街づくりパートナー

◀三井のすずちゃんページはこちら

三井不動産グループ保有林　北海道　深川市湯内

KOKORO TANAKA

田中こころ

MAKI TAKADA

高田真希

【最年長&最年少対談】

桜花学園高校出身の二人が語る日本代表とは？

共に桜花学園高校出身で年齢差16の高田選手と田中選手。
世代は大きく違うが、19歳で日本代表候補に招集されたということも共通点。
お互いをどのように見ているのか。
なぜ桜花学園高校出身選手は日本代表として活躍できるのか。
気になることを聞いてみました。

PROFILE

たなか・こころ：2006年1月10日生まれ／ポイントガード／172㎝／ENEOS サンフラワーズ所属／大阪府出身／桜花学園高校出身／2021年インターハイ&ウインターカップ優勝(高1)、2023年インターハイ準優勝(高3)。高校卒業後の2024年、ENEOSに入団。開幕戦で23分48秒出場し、11得点2リバウンド2アシスト2スティールと大活躍しチームの勝利に貢献。

PROFILE

たかだ・まき：1989年8月23日生まれ／パワーフォワード／185㎝／デンソー アイリス所属／愛知県出身／桜花学園高校出身／東京2020オリンピック銀メダリスト。小4で空手をはじめ、中学校からバスケットボール部に入部。高3のときには3冠を達成し、ウインターカップではベスト5にも選出される。高校卒業後はデンソーに入団しルーキー・オブ・ザ・イヤーを獲得。オリンピックにはリオデジャネイロ、東京、パリと3大会連続出場。

KOKORO TANAKA

MAKI TAKADA

――桜花学園高校時代で一番印象に残っていることを教えてください。

髙田　私は実績がない状態で入学したため、センターとしての動き方や役割というのは、本当に何も分かりませんでした。ただ入学前、井上眞一先生（2024年12月31日没）が「俺はセンターを教えるのがうまい」とおっしゃっていて、それを信じて入りました。結果的に井上先生からディフェンスでの体の当て方やタイミング、オフェンスのドリルなどセンターに関するすべてを教えていただき、そのおかげで日本だけではなく世界と戦える土台を築けました。

田中　私は入学当初からSGとして起用されていて、3年生の最後のウインターカップでは井上先生から「毎試合20点を取れ」と言われて、実際に京都両洋戦（3回戦）で21得点。基本的に褒めることのない井上先生から「まぁまぁだった」と言われたときはうれしかったですし自信になりました。

――お二人の年の差は16。髙田選手は田中選手のことをどのようなプレーヤーだと見ていましたか？

髙田　ココロ（田中）が高校生のときは『ハンドリングが上手なSGで、今の時代の感じの子だな』と思っていました。昨季、WリーグのENEOSに入団し、開幕戦（対トヨタ自動車）で結構活躍していたのを見たときは『すごい子だな』と思いましたし、実際に対戦して「ポテンシャルがあるな」と感じました。今回、同じ日本代表候補選手として過ごしていますが、誰にでもフランクに話しかけているので『普段から明るい子なんだな。もうチームのムードメーカーになっているな』と。私は自分からはあまり話しかけないので、話に来てくれるとうれしいですね。

――田中選手にとって髙田選手はどんな存在ですか？

田中　センターの動きだけでなく外からのシュートもすごく上手なのは映像で見ているときから分かっていましたが、実際に対戦したときはキーマンであるリツ（髙田）さんを押さえようとするのですが、3Pシュートを警戒していたら中にドライブされたりと本当に止められなくて、改めてそのすごさを実感しました。オフコートのリツさんについては、同じENEOSの宮崎早織さんから「面白い人だよ」ということを聞いていましたが、まだあまり話せていないので、この対談を機にもっと話せるようになればと思っています。

――桜花学園出身の選手は、Wリーグだけでなく日本代表としても活躍する方が多いイメージがあります。その要因は何だと思いますか？

髙田　外からは、“元々いい選手が桜花学園に入っていて、そのまま育って日本代表になっている”と見えるかもしれませんが、実際に中に入ってみると、単純にそうではなく、井上先生が日本だけでなく世界で活躍できる選手を育てるということをテーマにされていて、そうしたカルチャーがあるのが大きいと思います。実際、高校の試合では私の高さを生かしたプレーをしていましたが、練習では自分より大きい相手にどう対応していくかといった分解練習をたくさんしていたので、卒業後に日本代表として世界と戦ったときに、体感できていない部分では分からないことがありましたが、分かってくると『井上先生に言われたことが実戦につながっている。あの練習は大切だったんだ』と思うことはたくさんありました。桜花学園の後輩を見ていても『世界に出るための引き出しをたくさん持っているな』と思います。

田中　特別なことを教えてもらったというよりは、本当に基礎的なことを細かくイチから教えてもらいました。レベルが上がっていくにつれて一番大事なことだと思うので、本当に桜花学園で井上先生に教えていただけで良かったなと思います。

――田中選手は6月7日～8日に行われた三井不動産カップ2025（愛知大会）でMVPを獲得されました。

田中　日本代表のユニフォームを着てプレーすることに対し、『緊張するだろうな』と思っていたのですが、本当に緊張することなく楽しくできました。元々緊張しないタイプなのですが、代表戦でも緊張せずプレーできてMVPを取れたのは自信になりました。

――コーリー・ゲインズヘッドコーチ（HC）からは、どんなことを言われていますか？

田中　「PGはすべてをやらなければならないポジションだけれど、自由にやれ」と言われています。

――選手を伸び伸びプレーさせるゲインズHCの方針なのでしょうね。現在、田中選手は19歳です。髙田選手も19歳のときに日本代表に呼ばれていますが、自身の経験を踏まえて何か田中選手にアドバイスしていただければと思うのですが。

髙田　まったくないですね（笑）。

田中　え～、それが一番聞きたいのに……。

髙田　私が19歳で入った当初は、ほぼ試合に出ていなくて、親善試合の最後に15秒だけ出るみたいな感じでした。それに対し、ココロはスタメンで出てPGとしてしっかりプレー。ハンドラーにかかる負担は大きいのですが、キツイ状況でもドライブして得点できますし、相手を引き付けてパスを出したりという状況判断も良く、コーリーのバスケにもフィットしていると思います。先輩ばかりの中でも、そうしたことができているのはすごいと思います。

――田中選手から髙田選手に聞きたいことはありますか？

田中　リツさんは毎試合安定したプレーをされている印象があります。どうすれば波をなくせますか？

髙田　準備に関しては特別なものはなく、本当いつも同じような準備をしています。とはいえ、やっぱり試合の中で波は正直あります。大事なのは、調子が悪い時に悪いまま終わってしまわないこと。40分間の中で『今日は調子が悪い。シュートが全然入らない』という時でも投げ出すのではなく、『じゃあ、その中で自分に何ができるか』を考えること。私はセンターなので、相手をリングから遠い位置に押し出して得点させない、リバウンドを取る。年齢的にリーダーシップを取ることも求められているのでみんなに声をかける。そうして調子が悪くてもできることを見つけて、それを徹底的にやることを心がけています。それをやり続けていると、その日の試合には間に合わなくても、翌日の試合で調子が戻ることも。調子の悪さが2～3試合続くこともありますが、“やり続ける”ことをすごく大切にしています。

molten®

feel the emotion

スポーツの報酬は感情だ。

動き出せ。つながり続けよう。感情に向き合え。

【FIBA女子アジアカップ2025】

狙うは2大会ぶり7度目の優勝 身長226cmのチャン擁する中国を攻略できるか

FIBA女子アジアカップ2025は2年おきに行われるアジアNo.1を決める大会。今年の「FIBA女子アジアカップ2025」は中国・深圳において7月13日～20日の日程で開催される。

第1回大会が行われたのは1965年（韓国・ソウル）。女子日本代表は決勝で韓国に敗れている。1968年大会（台湾・台北）でも決勝で韓国に敗れ準優勝に終わったが、1970年大会（マレーシア・クアラルンプール）では決勝で韓国に勝利し初優勝を手にした。

1972年大会（台湾・台北）以降は中国と韓国の2強時代が長く続き、女子日本代表が2度目の栄冠を手にしたのは、2013年大会（タイ・バンコク）。長い雌伏期間となってしまったが、ここから女子日本代表の黄金時代が続き、2021年大会（ヨルダン・アンマン）まで5連覇を達成。それまで中国と韓国が持っていた4連覇という連勝記録を塗り替えた。

そして6連覇をかけて臨んだ前回の2023年大会（オーストラリア・シドニー）。女子日本代表（当時FIBAランキング9位）は、グループステージ最終戦で同3位のオーストラリアに91-66と快勝しベスト4以上を確定させると、決勝トーナメント準決勝でもニュージーランド（同29位）を88-52で下し6大会連続の決勝進出を決めた。その後、決勝で中国（同2位）と対戦。2Q終盤で16-0のランを作り9点リードで前半を折り返したが、4Q終盤、競り合いとなるも71-73で逆転負け。大会6連覇には届かなかった。

来る2025年大会（中国・深圳）、中国は地元開催ということもあり連覇を虎視眈々と狙っている。2023年大会（オーストラリア・シドニー）でも身長205cmで3Pシュートも打てるハン・シュー（MVP獲得）と、オールラウンドな活躍を見せたリー・モンが大会ベスト5に選ばれているが（2人ともWNBA所属）、今回はそこに身長226cmのチャン・ツーユウ（18歳）が加わることが予想される。

実際、「FIBA女子アジアカップ2025」に向けて6月13日に行われた中国とボスニア・ヘルツェゴビナとの親善試合にはチャンが登場。12分の出場ながら18得点、7リバウンドをマークすると、6月15日の第2戦でもプレータイム15分で16得点、7リバウンドの活躍を見せた。さらに6月18日と20日に行われた女子日本代表との親善試合でも、第1戦（日本92-101中国）は18得点、10リバウンド、第2戦（日本61-93中国）は16得点、4リバウンドで連勝に貢献している。

今回の中国との親善試合、女子日本代表は若手中心で臨み、髙田真希、渡嘉敷来夢というベテラン勢を欠いていたが、来る本戦ではコーリー・ゲインズヘッドコーチが掲げるスピード&スペースでいかに中国の高さに対抗するか。2大会ぶり7度目の優勝に期待したい。

@www.basketballimages.cn

@www.basketballimages.cn

「FIBA女子アジアカップ2025」大会概要

開催地 中国・深圳　**開催日** 2025年7月13日～20日

出場国 〈グループA〉中国（4位）、韓国（14位）、ニュージーランド（26位）、インドネシア（57位）
〈グループB〉オーストラリア（2位）、日本（9位）、フィリピン（44位）、レバノン（54位）
※（カッコ）内はFIBAランキング2025年2月9日現在

試合方式 まず2組に分かれて総当たり方式のグループフェーズを実施。各組1位が準決勝に進み、各組2位と3位が準決勝進出決定戦、各組4位が7～8位決定戦へ進む。

@www.basketballimages.cn

三井住友信託銀行は、
バスケットボール日本代表を応援しています。

JAPAN BASKETBALL
AKATSUKI JAPAN

©シンジル＆タクセル

©日本バスケットボール協会

三井住友信託

NORIKA KONNO

【コートの花になるポテンシャル大】

今野紀花

高校卒業後、アメリカNCAA1部に所属するルイビル大学に進学し、本場のバスケットボールカルチャーに触れてきた今野。179㎝と長身でハンドラーの役割を担うことができ、突破力、シュート力もある今野がどれくらい躍動できるかが、日本代表の勝敗のカギを握っている。

――三井不動産カップ2025（愛知大会）は2試合ともスタメンとしての出場でした。また日本代表ではポジションアップし、ガードとしての役割も担われていました。手応えはいかがですか？

ガードを任されたのはルイビル大学の時以来なので2年ぶり。チーム（デンソー）では4番を担うことが多く、ブランクがあり不安もありましたが、楽しんでプレーできたのがすごく良かったと思います。クイックで打つ3Pシュートなどこれまでやっていなかった新しいことにも挑戦でき、『コーリー・ゲインズヘッドコーチ（HC）のもとでバスケをすることで、自分の新しい可能性が広がっていくかもしれない』というワクワクがすごく大きいです。

――ゲインズHCからはどのようなことを求められているのですか？

チームとしては「速いペースを保つ」、個人としては「3Pシュートのチャンスがあれば絶対に打つ」ということを言われています。

――中国遠征では2mを超える長身選手がいる相手と2試合戦い、92-101、61-93というスコアでした。

若手メンバー中心での遠征で、1試合目は9点差。それまで想像しかできなかったものが実際に体感できたことがとても大事だったと思います。チャンスがないわけではない、ということも感じました。日本代表のコーチたちもいろいろな戦略戦術を立てていて、中国遠征ではそれを試した部分もありますが、私たち選手がしっかり遂行しきれなかったという課題や甘い部分がありました。FIBA女子アジアカップ2025に向けては、どれぐらい自分たちがコーチたちの意図を組んで遂行できるかが大事だと思います。

「〝身長があり、あらゆる役割を担える〟ことを強みにしていきたい」

――ルイビル大学に留学した経験はどのように生きていると思いますか？

一度日本を出てアメリカのバスケカルチャーを間近にして時間を過ごしたことで視野がすごく広がり、バスケに対するモチベーションにもつながっています。言葉にうまく表せないのですが、『アメリカでの経験がなければ、今の自分ではいられないな』と感じることはあります。ルイビル大学、そしてデンソーを含め、これまで2番、3番、4番といろいろなポジションを経験してきました。今はそれぞれのクオリティを高めることを一番に考えていて、〝身長があり、あらゆる役割を担える〟ことを強みにしていきたいと思っています。

――日本代表になるということは、今野選手にとってどんな意味を持っていますか？

日本代表に入ることがゴールではなく、その先に自分が追っているものがあります。そのためにも絶対に入らなきゃいけない場所ですし、だからこそ意味がある。すごく強い気持ちを持っていて、絶対に入りたいと思っています。

――日本代表は才能ある選手の集まりです。生き残っていくためにはどんなことが必要だと感じていますか？

中国遠征でも感じたのですが、〝短い期間の中で相手にアジャストしていく〟ことです。リーグと違って時間が短いので、『自分の中でしっかり整理して、コート上で体現することが本当に大事だな』と感じました。東京大会も2試合ありますが、チームとして遂行すべきことをやるのは最低限で、その上で自分の持ち味である、ボールをプッシュすること、ピックアンドロールを使うこと、早いタイミングで3Pシュートを打つこと、をやっていきたいと思っています。また課題であるディフェンスのクオリティも上げていけたらと思います。

PROFILE

こんの・のりか：University of Louisville出身／聖和学園卒業後、全米大学体育協会（NCAA）1部に所属するルイビル大学に進学し、ガードとしてプレー。2023年にデンソーに入団。日本代表候補になるのは3 年ぶり。ハンドリングができる長身選手として期待が高い。

NICHIBAN

バトルウィン™とは

ニチバンのテーピングブランドです。1981年「ニチバンスポーツテープ」として
スポーツ市場に向けて初めて製品を発売、
1984年にバトルウィン™(battlewin™)ブランドに切り替え、
長年スポーツシーンをサポートしてまいりました。
これから先もニチバンはバトルウィン™ブランドを通じて、
日本の、世界のスポーツシーンを支えてまいります。

battlewin★com ★バトルウィンドットコム
詳細はコチラ▶

JAPAN BASKETBALL AKATSUKI JAPAN × NICHIBAN

ニチバンは AKATSUKI JAPAN ／バスケットボール日本代表のオフィシャルサプライヤーです。

TM：trademark

JAPAN NATIONAL TEAM

JAPAN

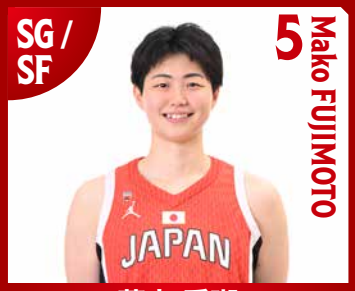
女子日本代表 | FIBA ランキング 9位 2025年2月9日現在

コーリー・ゲインズ
Corey GAINES
HEAD COACH
公益財団法人
日本バスケットボール協会

SG 2 Norika KONNO
今野 紀花
生年月日:2000年5月1日　身長:179cm
所属:デンソー アイリス

SF 3 Stephanie MAWULI
馬瓜 ステファニー
生年月日:1998年11月25日　身長:182cm
所属:CASADEMONT ZARAGOZA

PG 4 Mai KAWAI
川井 麻衣
生年月日:1996年4月11日　身長:171cm
所属:デンソー アイリス



SG / SF 5 Mako FUJIMOTO
藤本 愛瑚
生年月日: 1999年10月1日　身長: 179cm
所属:ENEOS サンフラワーズ

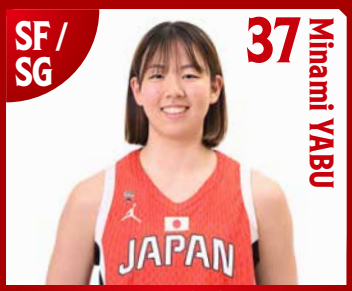
PF 8 Maki TAKADA
高田 真希
生年月日:1989年8月23日　身長:185cm
所属:デンソー アイリス

SG / PG 9 Riho AKAGI
赤木 里帆
生年月日:1998年8月4日　身長:167cm
所属:富士通 レッドウェーブ

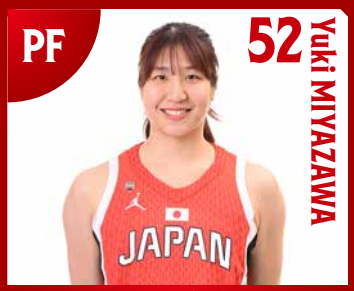
C 10 Ramu TOKASHIKI
渡嘉敷 来夢
生年月日:1991年6月11日　身長:193cm
所属:アイシン ウィングス

SF 16 Ririka OKUYAMA
奥山 理々嘉
生年月日:2000年4月6日　身長:180cm
所属:トヨタ紡織 サンシャインラビッツ

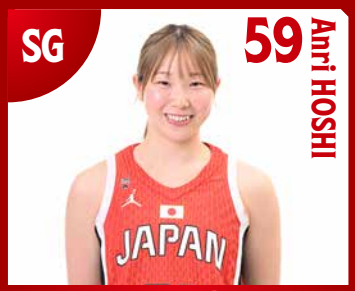
PG 26 Kokoro TANAKA
田中 こころ
生年月日:2006年1月10日　身長:172cm
所属:ENEOS サンフラワーズ



SF / SG 37 Minami YABU
薮 未奈海
生年月日:2004年10月2日　身長:178cm
所属:デンソー アイリス



PF 52 Yuki MIYAZAWA
宮澤 夕貴
生年月日:1993年6月2日　身長:183cm
所属:富士通 レッドウェーブ



SG 59 Anri HOSHI
星 杏璃
生年月日:2000年5月9日　身長:171cm
所属:ENEOS サンフラワーズ

SG / PG 75 Nanako TODO
東藤 なな子
生年月日:2000年11月29日　身長:175cm
所属:トヨタ紡織 サンシャインラビッツ

C 77 Miwa Kuribayashi
栗林 未和
生年月日:1998年8月26日　身長:188cm
所属:東京羽田ヴィッキーズ

PF 99 Monica OKOYE
オコエ 桃仁花
生年月日:1999年2月7日　身長:183cm
所属:ENEOS サンフラワーズ

JAPAN NATIONAL TEAM

※自由契約選手リストに公示されている選手は、引退、他チームへ移籍、自チームへ残留が確定していないため、2024-25シーズン所属チームを表記(2025年6月6日現在)

STAFF

チームリーダー
小栗 弘 Hiroshi OGURI
公益財団法人日本バスケットボール協会

アシスタントコーチ
宮田 知己 Tomoki MIYATA
公益財団法人日本バスケットボール協会

アナライジングコーチ
伊藤 恭子 Kyoko ITO
デンソー アイリス

通訳
下條 海 Kai SHIMOJO
公益財団法人日本バスケットボール協会

スポーツパフォーマンスコーチ
臼井 智洋 Tomohiro USUI
公益財団法人日本バスケットボール協会

アスレティックトレーナー
荻野 まゆみ Mayumi OGINO
公益財団法人日本バスケットボール協会

アスレティックトレーナー
宮口 佳子 Keiko MIYAGUCHI
S-Life はりきゅう院

チームマネージャー
古海 五月 Satsuki FURUMI
公益財団法人日本バスケットボール協会

チームマネージャー
小松 佳緒里 Kaori KOMATSU
ENEOSサンフラワーズ

テクニカルスタッフ
有賀 早希 Saki ARIGA
富士通 レッドウェーブ

DENMARK

女子デンマーク代表 | FIBAランキング 55位 2025年2月9日現在

Christer STJERNBORG
HEAD COACH

C 0

Julianna OKOSUN
生年月日:2001年6月18日　身長:194cm

G 1

Nikoline SANDBÄCK
生年月日:2001年5月6日　身長:170cm

G 3

Frida FORMANN
生年月日:2001年1月22日　身長:180cm

G 5

Alberte RIMDAL
生年月日:2002年1月28日　身長:175cm

F/C 7

Josefine HAABEGAARD
生年月日:1999年12月20日　身長:180cm

G 9

Emilie RAVN
生年月日:2000年7月13日　身長:176cm

F 11

Katrine LASSEN
生年月日:1999年4月2日　身長:178cm

G 12

Camilla CHRISTIANSEN
生年月日:2001年9月26日　身長:174cm

C 13

Karen DALSGAARD
生年月日:2004年3月22日　身長:188cm

F 14

Ellen IVERSEN
生年月日:1997年12月19日　身長:180cm

F 15

Lena SVANHOLM
生年月日:1998年9月22日　身長:198cm

G 16

Michala BORK
生年月日:2003年4月15日　身長:179cm

G 19

Asta BLAUENFELDT
生年月日:2002年6月12日　身長:168cm

DENMARK NATIONAL TEAM

STAFF

Assistant Coach
Eduardo Herrero

Physiotherapist
Emil Lorentsen

Team Manager
Mauricio Chicola Gutierrez

Head of Delegation
Jorgen Fastberg

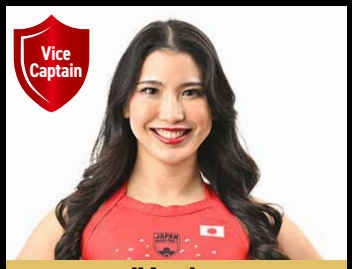
AKATSUKI VENUS®

バスケットボール日本代表オフィシャルチアリーダーズ

バスケットボール日本代表 AKATSUKI JAPANを応援するオフィシャルチアリーダーズとして暁の空に最後まで輝き続ける金星「VENUS」をイメージし、日本代表を勝利の日の出へ導く存在になるという思いと、AKATSUKI VENUS®の活動に取り組む姿・思いがまた一つの目標となり、子供たちをはじめ多くの人へ勇気や夢、元気をお届けしたいと思い2017年に結成。AKATSUKI JAPANの選手たち同様、地域貢献活動への参加や活動を通してSDGsの実践等取り組みを予定しております。

#Rumi

所属：元 滋賀レイクス
得意な技：ジャンプ
特技・趣味：早着替え、旅行

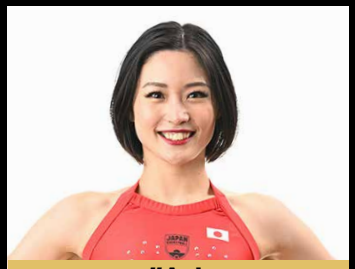


#Ayaka

所属：横浜ビー・コルセアーズ
得意な技：髪さばきまで意識したダンス
特技・趣味：映画鑑賞・ラーメン

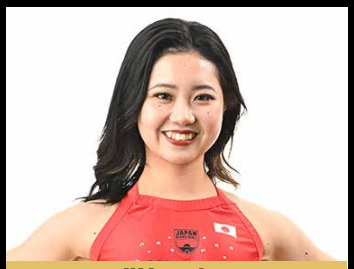
#Aimi

所属：東京ユナイテッド
得意な技：柔軟性を活かしたダンス
特技・趣味：ランニング、岩盤浴



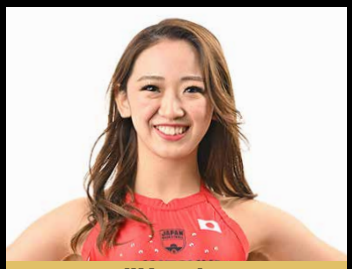
#Aoi

所属：横浜エクセレンス
得意な技：ターン
特技・趣味：ハンドドリップコーヒー、音楽・ライブ鑑賞



#Hanaka

所属：千葉ジェッツふなばし
得意な技：上半身の表現力
特技・趣味：人の顔を覚える事・空の写真を撮ること

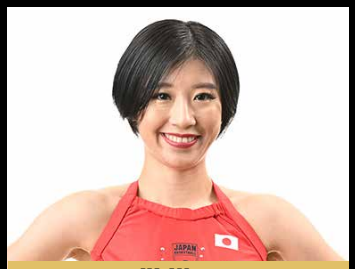


#Haruka

所属：サンロッカーズ渋谷
得意な技：体の可動域を大きく使った迫力あるダンス
特技・趣味：お風呂、お笑いを見ること

#Mayuka

所属：横浜ビー・コルセアーズ
得意な技：ジャンプ
特技・趣味：ドライブ、カメラ



#Miku

所属：アルティーリ千葉
得意な技：ターン
特技・趣味：熱い応援、のんびりすること、スポーツ観戦

#Nanase

所属：千葉ジェッツふなばし
得意な技：側宙
特技・趣味：サウナ、ドライブ

#Reona

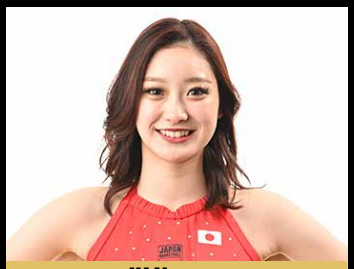
所属：千葉ジェッツふなばし
得意な技：キック
特技・趣味：岩盤浴、グルメ巡り

#Rinka

所属：仙台89ERS
得意な技：アクロバット
特技・趣味：映画鑑賞、料理

#Sumire

所属：宇都宮ブレックス
得意な技：前方転回
特技・趣味：化粧品を集める、カフェ巡り



#Hinata

所属：レバンガ北海道
得意な技：ターン
特技・趣味：ネイル、スポーツ観戦

当協会はSDGsに貢献するプロジェクトを推進しており今回はAKATSUKI JAPAN バスケットボール男女日本代表チームへ提供されているT シャツをアップサイクルし、男女日本代表戦の演出で使用する「AKATSUKI JAPAN 応援フラッグ」として生まれ変わりました。制作する過程で（JBAのオフィス所在地である文京区にあります）小石川福祉作業所にてAKATSUKI VENUS®と共に制作過程に加わっていただき、AKATSUKI JAPAN バスケットボール男女日本代表チームへ勝利への願いを一緒に込めました。

©日本バスケットボール協会

AKATSUKI VENUS® Instagram 公式アカウント
https://www.instagram.com/akatsukivenus_jba/

AKATSUKI JAPAN plus+/AKATSUKI VENUS® 紹介ページ
https://akatsukijapanplus.jp/s/n72/page/about_venus5

AKATSUKI JAPAN
オフィシャルグッズ販売中！

プレイヤーズフェイスタオル ¥2,500

イラストフェイスタオル ¥2,500

アクリルキーホルダー
¥900

ベアキーチェーン
¥2,300

【シークレット】
プレイヤーズ
アクリルキーホルダー
¥900

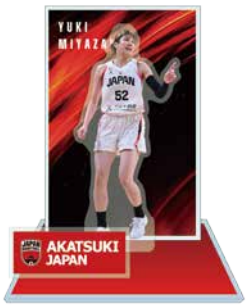
JBA 公式レプリカユニフォーム ¥25,000

イラストＴシャツ ¥3,900

【音響制御】
AKATSUKI
マジカルペンライト
¥3,800

SNOOPY バスタオル ¥4,900

【シークレット】
平竹小判型応援うちわ ¥600



プレイヤーズ アクリルスタンド ¥1,800

プチ缶チョコ（赤 黒 白）¥900

公式 オンラインストアにアクセス!!

公式オンラインストアではグッズ売り場で売っていない、売り切れているアイテムが販売していることもございます。是非チェックしてみてください。

●画像は監修中につき、デザインが変更となる場合がございます。●商品画像はイメージです。●掲載している商品以外にも販売している商品もございます。
●一部取り扱いが無い商品、売り切れの商品もございます。ご了承ください。

JBA JAPAN BASKETBALL ASSOCIATION OFFICIAL ONLINE STORE Fanatics Experience

AKATSUKI JAPAN plus+

バスケットボール日本代表 公式FUNサイト

新規入会受付中!!

入会はこちら

AKATSUKI JAPAN plus+は代表とあなたを「繋ぐ」ファンクラブ

AKATSUKI JAPAN plus+に入会すると!

チケット

TICKET

AKATSUKI JAPANの国内全試合やJBA主催試合※のチケットをどこよりも早く購入できる!

※一部対象外の試合がございます。

会員限定コンテンツ

毎月更新のAKATSUKI JAPAN 男女のカレンダー、限定コラム、また代表選手の素顔が垣間見えるインタビュー動画など、ここでしか得られない会員限定コンテンツを多数配信!

サイン入りグッズなどがもらえるプレゼントキャンペーンも開催!

AKATSUKI JAPAN plus+ご入会方法

月額440円(税込)でご利用いただける公式FUNサイトです。URLもしくはQRコードにアクセスしてください。

※12ヶ月払いもご利用いただけます。※携帯電話など一部端末には対応しておりません。

http://akatsukjapanplus.jp アカツキジャパンプラス

有料会員／無料会員の方へ

メルマガでバスケットボール日本代表のお得な情報をGET!! 今すぐ登録しよう!

(QRコードを読み込んでログインしてください)

メルマガ登録はこちら

JBA JAPAN BASKETBALL ASSOCIATION

©日本バスケットボール協会

バスケで日本を元気に！
JAPAN BASKETBALL STANDARD

「JAPAN BASKETBALL STANDARD」は、日本のバスケットボールの未来を輝かせるために、バスケットボールに関わるすべての人が「バスケで日本を元気に！」というひとつの理念にむかい、ひとつのチームとして持つべき「志」、目指すべき「目標」、行うべき「行動」を示したものです。
日本バスケットボール協会が設立100周年を迎える2030年にむけてビジョンを描き、目指すべき姿を掲げています。

JAPAN BASKETBALL
JBA
JAPAN BASKETBALL ASSOCIATION

バスケ JBS

SPORTS
【競技と組織】バスケが日本スポーツをリードするにふさわしい競技であり続けるために「国際競技力の向上」や「競技・事業環境の進化と適応」、「クリーンな組織体制の強化」を進める。

CULTURE
【文化】バスケが文化として日本全体に根付くことで、「する」「観る」「携わる」「語る」「育む」あらゆる人々にとって身近な存在であり続け、形成される無数のコミュニティで、すべての人の毎日を彩る。

SOCIETY
【社会】バスケが地域や産業活性化に必要不可欠なインフラになることで、これからもずっと社会に受け入れられ、未来に向けた持続可能で豊かな社会を実現する。

JAPAN BASKETBALL STANDARD 2025

「バスケで日本を元気に！」
これは、どんなに時代が移り変わっても、決してぶれることのない理念であり、原点です。

しかし、2016年にJBSを策定してから10年が経とうとする今、「バスケで日本を元気に！」が果たす役割、求められる役割は時代の変化とともに多様化しています。

JBS2025では、「バスケで日本を元気に！」の理念を具現化し、その広がりを正しく捉え、バスケットボール界が果たすべき責任とその価値を再確認し、未来へつなげるための新たなスタンダードとして、『SPORTS：競技と組織』『CULTURE：文化』『SOCIETY：社会』の3つの領域を設定し、それぞれのビジョンを策定しました。

また、それぞれの領域に共通する概念として、『DIVERSITY & INCLUSION（多様性と包括）』『COMPLIANCE & INTEGRITY（法令順守と誠実さ）』『DIGITAL TRANSFORMATION（デジタル変革）』を掲げています。

JBS2025に描いた未来を現実のものとし、「バスケで日本を元気に！」を実現するために、JBAは、B.LEAGUE、W LEAGUE、都道府県協会、各種連盟、パートナー、ファンや地域の方々など、すべてのバスケットボールファミリーの皆さまとともに、より良い日本のバスケットボールの未来を創り上げていきます。

バスケで日本を元気に！